

「気づき」

先日、地域の昔話に出てくる「池」を探そうと、職場の友人と二人で出かけました。山の登り口に車を止めて山道を歩き始めました。ところが、十分な下調べをしていなかったため、途中で方向が分からなくなりました。途中で「仕方ない、引き返そう」と来た道を歩き始めると、「あんたはどこ行くの?」と、50歳代くらいの夫婦に声をかけられました。

池を探しに来ただけ道が分からず引き返すところだと話すと、「その池ならよく知っている。一緒に行つてあげるわ」と道案内をしてくれることになりました。夫婦がこの辺りをよく散策していること、目的の池にまつわる昔話、また、全くの普段着で、靴に至っては革靴の私たちに「小さい山でもそれなりの装備をせんとあかんよ」と山歩きの心構えも教えてくれました。初対面でしたが夫婦のゆつたりとした雰囲気を楽しむ会話が弾みました。

池に到着し、夫婦にお礼を言つて別れ写真撮影などしていると、夫婦が池に戻って来ました。「ここまで送ったのはいいけど、帰りに迷うとあかんから、登り口まで送るわ」と、帰りの道案内も買つて出てくれたのです。



～人権尊重をくらしのなかに～ 意見は人権・男女共同参画推進室 (☎63・7909)へ

初対面の私たちが気づき、最後まで付き合つてくれた夫婦の温かさが心にしみました。あらためて考えてみると、家庭や職場、地域など、日々の暮らしの中で、たくさんの温かさに触れています。しかし、それらを感じられないくらい感覚が鈍つていくように思うことがあります。私自身、普段から困っている様子の人がいれば、声をかけたり、お手伝いをしたり、何かできることがあればしなくてはと思つています。しかし、実際には、自分の忙しさを理由に見えぬふりをしてたり、その人が困つていたりすることにすら気づけていないことがあります。



「心ここにあらず」では感じることができません。漢字の「忙しい」の成り立ちは「心をくすくす」と聞こえることがあります。確かに忙しい毎日ですが、心をくすくすことなく過ごしたいと思つます。そうすることでいろんなことに気づき、温かくなつたがりを広げていくことができるのだと思つます。あの夫婦のように。

国津の杜の行事
木工教室
糸のこ木工芸教室
草木染教室

女性対象講座「心と体を健やかに～心と体はつながっている～」
からだからこころをコントロールする
～ヨーガ療法より～

「つるつる手打ち“3色うどん”づくり」を開催
日時 3月10日 午前9時15分～正午
場所 武道交流館いきいき(蔵付町里)

元気の源は毎朝の体操から! 「桔梗が丘体操会」参加者募集
日時 3月1日～11月30日
毎日午前6時30分開始

なせ宿 催し
La・Hyuseによる「やなせ宿ひなまつりコンサート」

特別障害者手当、障害児福祉手当の申請を受け付けています
特別障害者手当
対象 20歳以上で、重度の障害があるために、日常生活で常時特別の介護を必要とする在宅の人

電源立地地域対策交付金事業(水力枠)で道路の舗装補修
市は、平成24年度に経済産業省の「電源立地地域対策交付金事業」で桔梗が丘1番町地内などの幹線道路の舗装補修工事を行いました。

3月の献血
日時 3月13日 午後2時～4時
場所 イオン名張店(元町)